

協力関係施設
施設長及び管理者 様

南庄内緩和ケア推進協議会

会 長(鶴岡地区医師会長) 福原 晶子

庄内プロジェクト緩和ケアを学ぼう会グループ

リーダー 鶴岡市立荘内病院 和泉 典子

令和 4 年度第 2 回 庄内プロジェクト 緩和ケアを学ぼう会

晩夏の候、貴職におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より、庄内プロジェクトの活動につきまして、関係する多くの医療・福祉機関の皆さまより、格別なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの第 7 波の影響により、皆さまの現場でも、日々緊張感がつづき、心身の疲弊が募っている方もおられるかもしれません。今回も、完全オンライン開催とし、施設および在宅での緩和ケアの取り組み事例に加え、講義では、「緩和ケア従事者のセルフケア」を取り上げます。

お忙しい時期と思いますが、貴施設の職員の皆さまに、幅広くお声かけいただければ幸いです。職種を問わず、関心のある皆さまのご参加をお待ちしております。

記

1. 日 時 令和 4 年 9 月 5 日（月） 18 時 30 分～20 時 00 分
2. 対 象 病院、医療機関、介護施設、サービス提供事業所（短期入所、通所介護、訪問介護、訪問入浴）での医療や看護・介護ケアに関わる医師、歯科医師、看護師、准看護師、リハビリ職、薬剤師、栄養士、歯科衛生士、ケアマネジャー、ヘルパー、社会福祉士、相談員、ほか関心のある方
3. 開催方法 オンライン配信（Zoom）
※オンラインのみの開催で会場での集合研修は行いません
4. 内 容 **事例 1）「難病の妻を介護したい」本人の思い、「両親を介護したい」息子の思い
～家族の思いを多職種で支えている事例～**
居宅介護支援センターふれあい 介護支援専門員 大内 麻里子 氏
事例 2）老健での看取りについて
介護老人保健施設 かけはし 療養棟看護職員 本間 聖子 氏
講義 緩和ケア従事者こそセルフケアを大切に
荘内病院 公認心理師・臨床心理士 臨床心理主幹 柏倉 貢 氏
5. その他 オンライン参加用の ZoomURL と配布資料（PDF）のダウンロード用 URL は前日までにメールでお知らせします。

参加申込み締切：令和 4 年 8 月 26 日（金）

事務局 緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川
（荘内病院 地域医療連携室内） 担当 佐々木・上野
電話 26-5180 （直通）FAX 26-5156

令和4年9月5日（月）第2回 庄内プロジェクト 緩和ケアを学ぼう会

メールアドレスの誤配を避けるため、メールでの申し込みをお願いいたします。

E-mail : kanwa.project@shonai-hos.jp

締切 令和4年8月26日（金）

※メールの件名は、「9月5日緩和ケアを学ぼう会の申込み」として下さい。

メールには、「氏名」、「所属」、「職種」を記載してください。

複数人で聴講する場合も、参加者全員の「氏名」、「所属」、「職種」を記載してください。

※聴講環境

可能な範囲で、カメラ機能のあるデバイスから参加をお願いします。

講師からも皆さんの顔が見えるように、ご協力をお願い申し上げます。

※参加者アンケート（Google アンケート）へのご協力をお願いします。

会の終了後に URL、QR コードをスライド画面や ZOOM チャット機能を用いて表示致します。Zoom 退室前にアンケートへの回答をお願い致します。

※Zoom の使用方法

鶴岡地区医師会 地域医療連携室ほたるのホームページに「Zoom の使い方マニュアル」が掲載されていますので、そちらをご参照ください。

※質疑応答

質問はマイクのミュートを解除して直接発言いただくか、マイクやビデオ機能のないパソコンからの参加者はチャットから質問をお願いします。

皆様からの積極的なご参加をお願いします。

事務局

緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川

（庄内病院 地域医療連携室内） 担当 佐々木・上野

電話 26-5180（直通）

FAX 26-5156